

近畿大学病院 地域連携広報誌

August.2019

KINDAI Vol.10

CARELINK

光学治療
センター
カプセル
内視鏡検査

呼吸器外科
ロボット支援下
内視鏡手術

皮膚科
アトピー性皮膚炎
地域連携パス

- 連携医登録について
- 紹介予約手続方法

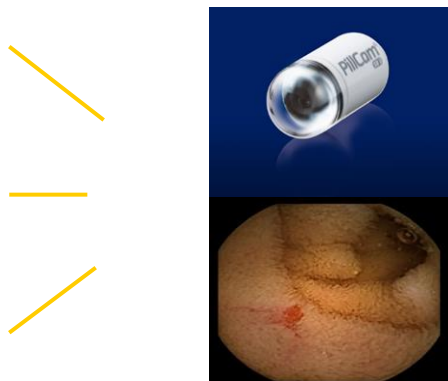
カプセル内視鏡検査

小腸カプセル内視鏡検査ご案内

小腸カプセル内視鏡を飲むことで小腸内を直接観察し、原因不明の消化管出血やクローン病など小腸疾患の診断を簡単に苦痛なく行える検査です。

小腸カプセル内視鏡とは

超小型カメラを内蔵した長さ約26mm×幅約11mmのカプセルをビタミン剤のように口から飲み込むだけの内視鏡検査です。



検査費用は、保険適応
で約3万円になります。

全額負担	約10万円	(保険適応なし)
3割負担	約3万円	
1割負担	約1万円	

お申し込みの際は消化器内科まで、
ぜひ、ご紹介ください。

小腸カプセル内視鏡検査の特徴

- 従来の小腸検査に比べ、苦痛がほとんど無い検査です。
- 検査中は日常生活ができます。



- 検査開始2時間後からお水、4時間後から軽い食事を
取ることができます。



※すべての医療行為にはリスクが伴う場合があります。安全かつ効果的にカプセル内視鏡検査が行えるように、検査に伴うリスクや禁忌(禁止事項)、適応症などについては、主治医から事前に説明があります。



小腸カプセル内視鏡検査は保険適用です

大腸カプセル内視鏡検査のご案内

2018年7月より大腸カプセル内視鏡検査を始めております。

患者さんにとって苦痛の少ない内視鏡検査を行える環境になり、より一層質の高い医療サービスが提供できるようになりました。

大腸カプセル内視鏡検査とは

小型カメラを内蔵した長さ 31mm×幅 11mm のカプセルを口から飲み込む内視鏡検査です。カプセルは消化管を通過しながら画像を撮像し、画像を記録装置に転送します。

医師はこの画像をもとに大腸の診断を行います。



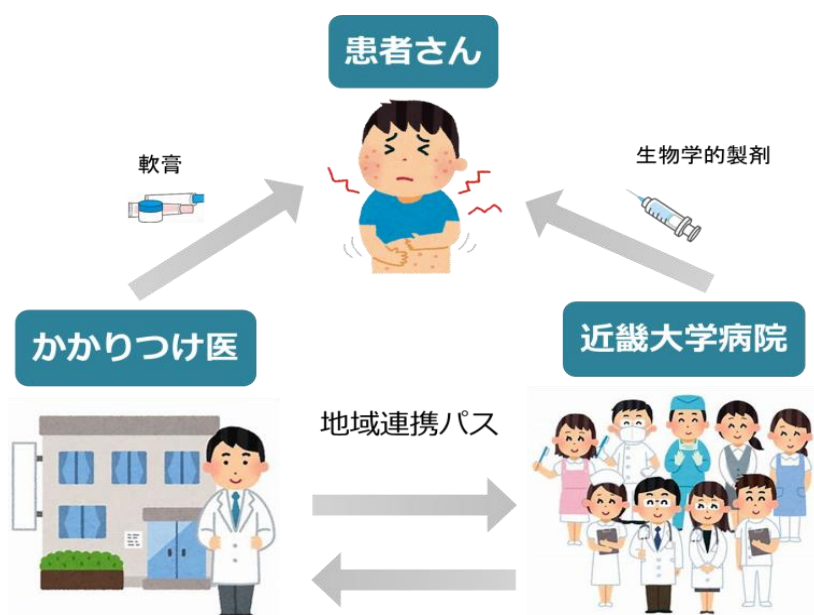
この検査が適応となる患者さん

大腸がん検診の便潜血検査で陽性となった場合や、腹部症状、特に血便や便秘・下痢などの症状が出た場合の精密検査として通常の内視鏡スコープが挿入できなかった方が主な対象となります。

また、腹部骨盤手術や放射線照射の治療後、臓器癒着のために内視鏡スコープを盲腸まで挿入することが困難と予想される場合も適応となります。

アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎地域連携パスについて



アトピー性皮膚炎は慢性の経過をとる皮膚疾患の中でも患者数が多く、日常診療においてよく遭遇するいわゆる common disease と言えます。基本的な治療はステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬、保湿剤といった外用治療を中心に行い、重症例に対しては紫外線療法やシクロスポリン内服薬を使用する場合があります。それらの治療は多くの患者に効果を発揮し有効と考えられますが、このような既存の治療でもコントロールが難しく QOL を著しく損なわれている方々が一定の割合でいらっしゃるのも事実です。

そういった中で近年、ヒト型抗ヒト IL-4/13 受容体モノクローナル抗体である dupilumab (デュピルマブ) が登場し、難治のアトピー性皮膚炎治療薬として使用されています。しかしながら、高価であることや副作用の懸念から一般クリニックでの導入が難しい面もあり、多くの患者さんをご紹介いただき、当院での導入・維持を行なっている現状があります。

dupilumab 導入に際しては臨床症状に加え、

①アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬（ストロングクラス以上）やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を直近の6ヶ月以上行なっていること

②ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬に対する過敏症、顕著な局所副作用若しくは全身性副作用により、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難であるという要件を満たすこと

が必須であり、現在までの治療歴の確認が必要となることから、dupilumab導入が早急に行えないケースが見受けられます。

紹介状

紹介状(アトピー性皮膚炎地域連携パス用)

年 月 日

医療機関 近畿大学病院

担当医 科 殿

医療機関の
所在地及び名称

電話番号

担当科名 科

医師氏名 氏名

患者氏名	性別 男・女			
患者住所				
電話番号				
生年月日 明・大・昭・平・令 年 月 日(歳) 職業				
紹介目的： <input type="checkbox"/> アトピー性皮膚炎の診断と治療 <input type="checkbox"/> 生物学的製剤の導入 <input type="checkbox"/> その他				
既往歴及び合併症： <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> アレルギー性結膜炎 <input type="checkbox"/> その他				
来院時の症状				
発症日： 年 月 日 初診日： 年 月 日				
現在の治療	薬剤名	用量	治療期間	POEM スコア
外用剤(顔面部)		g/月	ヶ月	
外用剤(体幹・四肢)		g/月	ヶ月	
ステロイド経口薬		mg/日	ヶ月	
免疫抑制剤		mg/日	ヶ月	
生物学的製剤を近畿大学病院で導入した場合				
<input type="checkbox"/> 自らの施設で生物学的製剤の継続を希望します。				
<input type="checkbox"/> 近畿大学病院での生物学的製剤の継続を希望します。				
<input type="checkbox"/> 生物学的製剤の投与は近畿大学病院、その他(外用剤等)の治療は自院で行うことを希望します。				
備考				

備考 1. 宛名の医師名が不明の場合は、科名のみご記入下さい。

2. 必要がある場合は、画像診断のフィルム、検査の記録等を添付して下さい。

また、「dupilumab 導入後の維持療法は近医で行いたい。」

「外用薬は近医で処方してもらいたい。」といった患者さん側のニーズも多く寄せられています。

ぜひ、ご活用ください。

そこで今回、患者さんの情報や治療方針の共有をスムーズに行い病診連携を図る目的で紹介状（アトピー性皮膚炎地域連携パス用：上図）を作成いたしましたので、同封いたします（当院ホームページからもダウンロードいただけます）。今後、重症アトピー性皮膚炎の患者さんをご紹介いただく際はこちらのパスをご活用いただきましたら幸いです。

ロボット支援下内視鏡手術

肺悪性腫瘍・縦隔腫瘍に対する
ロボット支援下内視鏡手術を開始いたします

2018年4月から、肺悪性腫瘍・縦隔腫瘍に対するロボット支援下内視鏡手術が保険適応となりました。

手術支援ロボット“DaVinci（ダ・ヴィンチ）”は、1-2cmの小さな創から内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を行うことが可能です。標準的な内視鏡手術で使用する二次元モニターでは視野が限られますが、「高性能三次元モニター画面」と「ズーム機能」により、広く明るい視野が得られます。さらに「手ぶれが排除された可動域の広い鉗子」を使うため、より正確な手術が行えるといわれています。

体への負担が少ないといわれる胸腔鏡下手術（胸部の内視鏡手術）は広く導入されていますが、ロボット支援下内視鏡手術には、更なる上乘せ効果が期待されています。さらに、肺悪性腫瘍や縦隔腫瘍に対する手術は、大出血になる可能性があるため、正確な操作が必要となりますが、ロボット支援下内視鏡手術はアドバンテージがあると言われています。

近畿大学病院 呼吸器外科では、本年4月に本手術の経験のある私（宗 淳一）が着任し、7月より開始しております。ご希望の患者さんがおられましたら、ぜひお声がけください。 【外来担当：月曜日】

医療機関の先生方へ

南大阪における肺癌治療の拠点でありつつ、地域に根差した垣根の低い医療を提供させていただきます。

お困りのことがあれば、いつでもご紹介ください。



ダ・ヴィンチ手術イメージ

連携登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病院連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICT を利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の共有が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出かし、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）

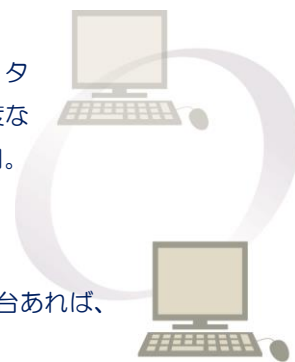
セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間は IPsec-VPN を利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】については、お問い合わせください。



情報参照していただけるもの

- 患者基本情報
- 病名
- 処方歴
- 検歴
- 各種オーダ情報
- 医師の記載
- 看護記録
- サマリー
- 経過表
- 画像情報
- 各種レポート

その他

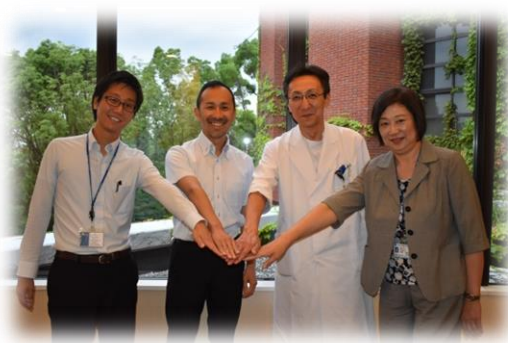
- ・当院へ通院歴のある患者から同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課まで FAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。
- ・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。（診療情報提供料（I）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）
- ・2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。

編集後記

KINDAI CARELINKもデザインを一新し、2号目となりました。私ども地域医療連携スタッフは、より一層顔の見える連携を目指しております。編集後記では連携に携わるスタッフが毎回登場いたします。是非、お楽しみに！！

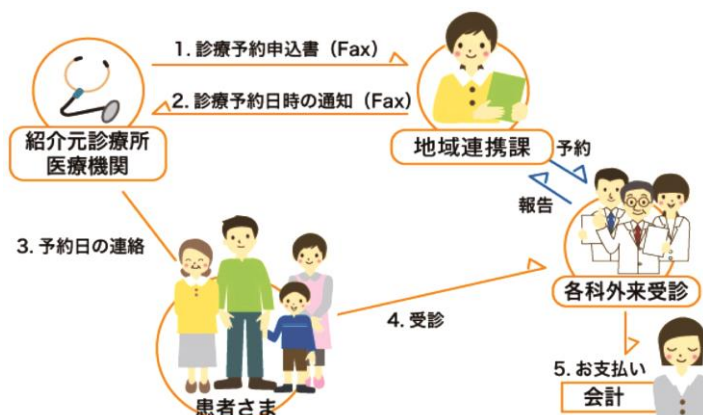
左から順に、
地域連携課主任（大目）、病院長補佐（杉本）、副病院長（安田）、患者支援センター室長（西隈）



紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者様のご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さまに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課

直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

地域連携課	直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送	072-366-0257
救命救急センター (24時間体制)	重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療	072-366-0250
脳卒中コール	脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い	072-366-0920
ハートコール	狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患	0120-145-810
周産期コール	産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急	072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあがります。

ハートコール心臓血管センター

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)



近畿大学病院
KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

KINDAI CARELINK vol.10 2019年8月
問い合わせ先：地域連携課
072-366-0257 (直通)